2023年１月15日

各位

一橋ジャーナル編集部長　大月 康弘

2022～2023年度『一橋ジャーナル』執筆申込みについて

『一橋ジャーナル』では、随時、執筆申込みを受け付けております。

各ジャーナルのウェブページ（<https://www.hit-u.ac.jp/eng/about/publications/hitotsubashijournal.html>）

で投稿資格などをご確認ください。ご執筆いただける場合は、本文書3ページ目「『一橋ジャーナル』執筆申込書」に必要事項をご記入のうえ、各誌エディターにメールでお申し込みください。

1. 2022～2023年度　原稿提出締切日等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 誌 　　名 | エディター  \*アステリスクは主エディターを表します。 | 巻号（発行予定年月） | 原稿提出締切日 |
| Commerce and Management | 中野誠＊  小野浩 | ~~56号（2022年10月）~~ | ~~2022年7月8日(金)~~ |
| 57号（2023年10月） | 2023年7月7日(金) |
| Arts and Sciences | 井上間従文＊  友澤宏隆  武村知子 | ~~63号（2022年12月）~~ | ~~2022年9月9日（金）~~ |
| 64号（2023年12月） | 2023年9月8日(金) |
| Social Studies | 寺尾智史 | ~~54号（2023年1月）~~ | ~~2022年10月7日（金）~~ |
| 55号（2024年1月） | 2023年10月6日(金) |
| Law and Politics | クォン ヨンソク | ~~51号（2023年2月）~~ | ~~2022年11月11日(金)~~ |
| 52号（2024年2月） | 2023年11月10日(金) |
| Economics | 森田穂高＊  山田俊皓 | ~~63-2号（2022年12月）~~ | Economicsは、完全査読誌です。学内からの投稿も査読の対象となります。Instructions to authorsに従ってご投稿ください。<https://www.econ.hit-u.ac.jp/eng/download/instructions_rev2021.pdf> |
| 64-1号（2023年6月） |
| 64-2号（2023年12月） |

・原稿提出締切日は厳守してください。締切を過ぎた場合には、改めて、次号にお申込みいただくこととなります。

・エディターのメールアドレスがわからない場合、その他お問合せは、一橋ジャーナル編集事務局までご連絡ください。　　[hit-journal@ad.hit-u.ac.jp](mailto:hit-journal@ad.hit-u.ac.jp)

1. 内　　容　：

論説、研究ノート、書評

1. ページ数ほか　：

Economics, Commerce and Management:　A4判用紙 40ページ以内（但し、１行半角70字１ページ30行を１枚の目安とする。）

Law and Politics, Social Studies, Arts and Sciences: 　A4判用紙 30ページ以内（但し、１行半角70字１ページ30行を１枚の目安とする。）

その他、論文の様式については、各ジャーナルのウェブページでSubmission Guidelinesをご覧ください。

4．留意事項　：

1. 投稿された論文を複製する権利や公衆送信権（例：学内外の論文アーカイブを通じたコンピュータ・ネットワーク上での公開する権利）等、著作権法第21条から28条に規定される著作財産権（外国の適用法令に基づき保護される著作財産権も対象となります）は、『Hitotsubashi Journal Copyright Policy（一橋ジャーナル著作権規程）』に基づき、一橋大学に排他的に譲渡されます。提出論文が共同著作物の場合には、申込者は、申込者以外の共同執筆者全員から上記譲渡に必要となる同意を得たうえで、お申込みください。論文をご自身で再利用（出版等）される場合には、一橋ジャーナル編集事務局に事前にご通知ください。詳細については、『Hitotsubashi Journal Copyright Policy（一橋ジャーナル著作権規程）』をお読みください。

<https://www.hit-u.ac.jp/eng/about/publications/hitotsubashijournal.html>

1. 公表された著作物（図表や図版など）は、公正な慣行に合致し、目的上正当な範囲内であれば、適法に引用できます（著作権法32条1項）。具体的な引用成立基準については専門家の間にも議論がありますが、以下の３つともにあてはまっていれば、成立と考えて問題ありません。すなわち、(1)引用の必要性が本文から読み取れる、(2)本文と明確に区別され出典も明示されている、(3)分量も本文が主で引用部分は従である。これらのどれかにあてはまらない転載をするときは、著作権の処理を執筆者の責任で行ってください。
2. 翻訳論文を掲載できるかどうかは雑誌により異なります。既発表自著論文の翻訳等の掲載を希望される場合には、エディターにご相談ください。投稿が承認されましたら、論文の共著者、論集の編者、出版社等の関係者とトラブルにならないよう、執筆者の責任で連絡調整をお願いします。そして、許諾を求める場合には、紙媒体の雑誌への翻訳転載だけでなく、誌面データの本学機関リポジトリ等への登載とその公衆送信も、許諾の対象としてください。
3. 『一橋ジャーナル』に論文の投稿を予定されている方は、投稿する論文の質の維持・向上や研究公正を目的として、論文投稿支援ツール「iThenticate」を利用いただくことができます。ご利用を希望の方は、一橋ジャーナル編集事務局までお問い合わせください。

（参考）iThenticate ： <https://www.turnitin.com/ja/products/ithenticate>

1. 『一橋ジャーナル』に論文の投稿を予定されている方は、欧文校閲を依頼いただけます。
2. 個人に依頼する場合

校閲料については、学内規定に基づき支払います。事前に届出が必要となりますので、必ず校閲を依頼する前に、一橋ジャーナル編集事務局までご連絡ください。本学職員へはお支払いできない場合がございますので、ご相談ください。

1. 専門の業者に依頼する場合

原則としては、業者の設定した単価に基づき支払います。単価は業者によって異なります。（１ワード10円を超える場合は事前に一橋ジャーナル編集事務局にご相談ください。）

\*執筆申込書および原稿送付先：　各ジャーナルのエディターまで

\*事務手続きなどに関するお問合せ：　　一橋ジャーナル編集事務局　[hit-journal@ad.hit-u.ac.jp](mailto:hit-journal@ad.hit-u.ac.jp)

2022～2023年度『一橋ジャーナル』執筆申込書

1. 執筆を希望する誌名欄にチェックを付けてください。

|  |
| --- |
| ~~Commerce and Management 56 (2022年10月発行)~~  Commerce and Management 57 (2023年10月発行)  ~~Arts and Sciences 63 （2022年12月発行）~~  Arts and Sciences 64 （2023年12月発行）  ~~Social Studies 54 (2023年1月発行)~~  Social Studies 55 (2024年1月発行)  ~~Law and Politics 51 (2023年2月発行)~~  Law and Politics 52 (2024年2月発行) |

Economicsについては下記Instructions to authorsに従ってご投稿ください。

<https://www.econ.hit-u.ac.jp/eng/download/instructions_rev2021.pdf>

1. 内 容（いずれかの□にチェックを付けてください。）：

|  |
| --- |
| 論説　　　 研究ノート　　　 書評 |

1. 題 名（仮題可）：

1. 執筆者氏名：
2. 執筆予定枚数：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　枚
3. 使用言語：
4. 校閲希望：  あり（希望依頼先：　　　　　　　 　　）

なし

1. 著作財産権譲渡の確認：

　下記をご確認後にボックスにチェックを付けてください。

|  |
| --- |
| 私は、上記論文（仮題の場合やタイトルに変更が生じた場合においても）の著作財産権を、一橋ジャーナル著作権規程に従い、一橋大学に排他的に譲渡することをここに確認し、同意いたします。  また、上記論文が共同著作物の場合、私が共同著作者を代表して上記の譲渡を行うこと、並びに共同著作者全員から上記譲渡に必要となる同意を得ていることをここに確認し、同意いたします。 |

日付：

申込者氏名：

所属：

連絡先電話番号：

メールアドレス：

※本申込書については、お手数ですが、各誌エディターまでメールでお送りください。エディターのメールアドレスがわからない場合、その他お問合せは一橋ジャーナル編集事務局までご連絡ください。　[hit-journal@ad.hit-u.ac.jp](mailto:hit-journal@ad.hit-u.ac.jp)